

処理能力の高さとSSL可視化など将来的な拡張性を重視 住友商事グループ共通基盤となるプロキシサーバとして 選択されたA10 Thunder CFW

顧客名：

SCSK 株式会社

業種：

情報・通信業

A10 のソリューション：

A10 Thunder CFW によるプロキシサーバ

課題：

- サポート終了を迎えた他社製プロキシサーバ (ProxySG) の刷新が必要に
- カテゴリでのWebフィルタリングが可能な環境を希望
- 将来的なSSL処理の増加に対応できる機能の実装を検討

導入効果：

- 十分なパフォーマンスを発揮するプロキシサーバとして安定運用を実現
- 運用工数やWebフィルタリングのライセンス費用などコスト削減に貢献
- 潜在的な設定ミスも含めて見直しすることが可能に



SCSK株式会社

SCシステム事業本部

国内ビジネスソリューション部

関 佳弘氏

“アクティブなセッション数が最大6万ほどになりますが、A10 Thunder CFWで問題なく処理することができています。今後のサービス拡張に応じた機能活用にも期待ができます。”

SCシステム事業本部 国内ビジネスソリューション部 関 佳弘氏



住友商事グループのシステムインテグレーターであるSCSK株式会社では、35ものグループ会社が共用で利用しているネットワーク基盤を運営しています。この共通ネットワーク基盤におけるプロキシサーバとして、A10 ネットワークス (以下、A10) が提供する「A10 Thunder® CFW」が採用されています。

課題：ProxySGのサポート終了に際して新たなプロキシサーバが必要に

住友商事グループのシステムインテグレーターであるSCSK株式会社では、金融をはじめ、製造業、流通サービス業、建設不動産業などあらゆる業種をターゲットに、コンサルティングから、システム開発、検証サービス、ITインフラ構築、ITマネジメント、ITハード・ソフト販売、BPOまで、ビジネスに求められる全てのITサービスを提供しています。「夢ある未来を、共に創る」を経営理念に掲げる同社は、2020年に設定された「グランドデザイン2030」を目指す姿として、コア事業であるITサービスを中心に、顧客や社会と共に成長する「共創ITカンパニー」の実現に向けて取り組んでいます。

そんな同社では、住友商事グループに所属する国内35社が利用する共通ネットワーク基盤“スカイネット”を2000年前後に整備しており、時代の変化に合わせてネットワーク刷新を継続的に行ってきた経緯があります。昨今では、業務基盤のクラウド化が多くのグループ会社で進められていることから、クラウドを中心としたSASE基盤への移行を段階的に進めている状況です。

この共用設備としてのネットワーク環境では、以前からプロキシサーバとしてProxySGが長年運用されてきました。「このプロキシサーバのサポートが終了するタイミングで、新たな環境への移行が必要になったのです」とSCシステム事業本部 国内ビジネスソリューション部 関 佳弘氏は当時を振り返ります。

検証：SCSKの実績と処理能力の高いアプライアンスを高く評価

新たな環境づくりに向けて、従来運用してきたWebフィルタリングの機能が利用できること、そして将来的なSSL処理の増加に備えてSSLの暗号・復号処理が可能であることを要件に挙げました。「Webフィルタリングに関しては、単なるURLでのフィルタリングだけでなく、以前から運用してきたカテゴリライズされたフィルタリングが可能なものを希望しました。また、今では通信の主体がSSLありきとなっているため、SSLの可視化を前提としたスループットを念頭に考慮しました」と関氏は当時を振り返ります。

同社はWebフィルタリング製品単体での導入も検討しましたが、プロキシやロードバランサの役割と分けることで運用が複雑になってしまうことから、処理能力の高いアプライアンスでこれらの機能を統合的に運用することにしたいと言います。

「クラウドプロキシのようなサービスを選択するケースもあると思いますが、35社のグループ会社が利用する共用設備だけに、各種のPC環境を全てクラウドプロキシ側に向けるような設定変更は容易ではなく、現実的な選択肢とはなりませんでした」。

また、一からナレッジを積み上げるより、すでに運用実績のあるソリューションの方が移行後の運用負荷がかからないことから、実績のあるソリューションを希望したと言います。

これらの要件を満たす最適なソリューションとして、A10 Thunder CFWが採用されました。

ソリューション：1つのBOXでプロキシに必要なあらゆる機能を提供するA10 Thunder CFW

A10 Thunder CFWは、ユーザー/グループベースの認証などのWebアクセス制御機能などに加え、Microsoft 365をはじめとしたクラウドサービス向けトラフィックの最適化機能や、SSL復号による脅威の可視化を実現するSSLインサイト機能、さらにファイアウォール機能など、プロキシとして必要な機能を1つのBOXに搭載し、追加ライセンスなしで必要な時にいつでも利用可能なソリューションです。マルチコア・マルチCPUの性能を最大限引き出すことに成功したA10の独自OSであるACOS (Advanced Core Operating System) を搭載、コンパクトな筐体ながら高いパフォーマンス性能を誇ります。



導入効果：住友商事グループ35社のネットワークアクセスを支える共用設備として安定稼働を継続中

現在は、アクティブ/スタンバイの冗長化構成で同社が管理するデータセンター内にA10 Thunder CFWが設置され、基盤を利用する事業会社の通信を全てプロキシ経由で行う構成です。IP数でおよそ5000、最大6万セッションほどのトラフィックが処理できるよう設計されています。「現時点でも10%に満たない負荷となっており、パフォーマンスの面でも十分な性能で、プロキシとして安定稼働を続けています」と関氏は評価します。

コスト面でもメリットがあったと関氏は言います。「従来は複数のプロキシをスタンバイ環境で運用していたため、Webフィルタ関連のライセンス費用が余計にかかっていましたが、処理性能が高いA10 Thunder CFWに切り替えたことでライセンスコストを抑えることにも成功しました」。

事業会社それぞれの利用環境は大きく制限しておらず、個社ごとの接続ポリシーに応じて、Microsoft 365をはじめとした各種クラウドサービスへの円滑なアクセスが可能になっています。「Webフィルタリングはブラックリストとして全体で設定されているものはありますが、個社ごとにサブネット単位でフィルタポリシーを設定する運用です」と関氏は説明します。

住友商事グループ企業内にはA10のソリューションの運用経験のあるメンバーが揃っているだけに、特段問題なく運用を続けることができています。「社内でもロードバランサとして実績があるため、提案しやすいソリューションでした。住友商事側と同じような構成かつ機能を絞って運用しているため、事前検証も簡易なもので済みました。運用しやすくなったことで工数も下がり、信頼性の意味でも改めて高く評価しています」と関氏は言います。

既存環境からの移行に関しては、矛盾した設定が含まれていても動作してしまうProxy SGに対して、整合性のある設定をしっかりと行うことで正しく動作するA10 Thunder シリーズと、ルール設定における考え方の違いがありました。「今回、A10 Thunder CFWへの移行にあたり、Proxy SGの設定内容を読み解くことには苦労しましたが、潜在的な設定ミスも含めてきちんと見直しができたことは評価できるポイントの1つです」と関氏は振り返ります。

今後の展開：SSLインサイトの活用や論理的なテナント分けなど今後の拡張に期待

現在はSSLインサイト機能を利用したSSLの可視化は実施していませんが、これからSASEも含めたネットワークの全体設計を見直していく過程で、必要に応じて活用していく計画です。また、アプライアンス内でテナントを論理的に分割して個社への適用前に検証環境を用意することも考えていきたいと言います。

さらに、現在は外部のsyslogにてトラフィックの分析を行っていますが、A10 Thunder CFW内部でのログ分析については運用チーム側では行っていません。「ユーザー数が多いこともあってログの量が膨大になるため、現時点では外部にログを吐き出したうえで解析していくアプローチを採用しています。運用側にはA10 Thunder CFW内部でのログ分析に関する機能は伝えていませんが、何かアクセスに関する問題があればすぐにGUI上で解析できるよう、A10 Thunder CFW内部での分析機能についてもしっかり活用していきたいです」と今後について関氏に語っていただきました。

A10 Networks / A10 ネットワークス株式会社について

A10 Networks (NYSE: ATEN) は、サービス事業者やクラウド事業者および企業で利用される5Gネットワークやマルチクラウドアプリケーションのセキュリティを確保します。高度な分析や機械学習、インテリジェントな自動化機能により、ミッションクリティカルなアプリケーションを保護し、信頼性と可用性を担保します。A10 Networksは2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに本拠地を置き、世界117か国のお客様にサービスを提供しています。

A10 ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワークングソリューションをご提供することを使命としています。

www.a10networks.co.jp/

Facebook: <https://www.facebook.com/A10networksjapan>

記載された内容は2023年2月時点の情報です。

Learn More
About A10 Networks

お問い合わせ
A10networks.co.jp/contact

A10 ネットワークス株式会社
www.a10networks.co.jp

©2023 A10 Networks, Inc. All rights reserved. A10 ロゴ、A10 Networksは米国およびその他の各国におけるA10 Networks, Inc. の商標または登録商標です。その他上記の全ての商品およびサービスの名称はそれら各社の商標です。A10 Networks は本書の誤りに関して責任を負いません。A10 Networks は、予告なく本書を変更、修正、譲渡、および改訂する権利を留保します。製品の仕様や機能は、変更する場合がございますので、ご注意ください。商標について詳しくはホームページをご覧ください。 www.a10networks.com/a10-trademarks Part Number: A10-CS-SCSK-01 FEB 2023